

改善箇所説明図



リヤコンビネーションランプ

基準不適合発生箇所

注：□ は交換する部品を示す。

ローダンプのリヤコンビネーションランプにおいて、ランプ配置の検討が不十分であったため、走行中に後輪が巻き上げた冰雪等が当該ランプ裏のシール部に堆積して塊状になることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、シールが変形してランプ内部に水が浸入し、尾灯および制動灯が常灯あるいは不灯になるおそれがある。

改善の内容

全車両、リヤコンビネーションランプを対策品と交換する。

識別

改善済車両には、車台番号打刻1桁目の上側に黄色ペイントを塗布する。